

木は古くから慣れ親しまれてきた素材であり、地球環境への関心の高まりの中で、改めてその重要性が見直されています。

本展は、近年の彫刻研究の動向を踏まえながら、著名な作家たちによる明治以降の木彫のさまざまな姿を見ていきます。仏像彫刻の伝統や日本古来の主題に向き合った作家たちが、何を求め、何を実現したのか。作家たちの技と心によって、木という素材がいかに生命を得たか。続く20世紀、めまぐるしい様式の変化の潮流の中で、作家たちは木に何を託したか。会場でごゆっくりご覧ください。

東京国立博物館、宮内庁三の丸尚蔵館、東京藝術大学大学美術館ほか、各地の美術館、ご所蔵家から、めったに見ることのできない貴重な作品を、約80点借用して展示します。

ぎゅっと抱きしめたいくなるような、美しく、りりしく、なつかしい木彫の人物像や動物たち。木を用いた現代の表現も加わって深い感動をよぶ展覧会です。



植木茂
《トルソ》
1970年
福岡市美術館蔵



宮本理三郎《蛙》
東京藝術大学蔵



橋本平八
《連座立像》
1930年
三重県立美術館蔵



竹内久一
《軌金剛神立像》1893年
東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives



舟越桂
《言葉の降る森》1989年
広島市現代美術館蔵



平野田中
《落葉》1913年
広島県立美術館蔵



高村光雲
《聖徳太子坐像》1911年
東京藝術大学蔵



高村光太郎
《白文鳥》1931年頃 個人蔵
撮影: 高村規



石川光明《野猪》1912年
東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives



川内勝三
《面》1965年
広島県立美術館蔵



佐藤朝山
《問答》1913年
個人蔵

抱きしめたい!
I wanna hold you!
Modern Japanese
Wood Sculpture:
19th century-
近代日本の
木彫展

関連行事

① 積み木で作って遊ぼう! (小学校4年生～6年生対象)

講師：林 哲三さん(富山大学名誉教授、木作家)
とき：8月12日[金] 午後2時から4時まで(受付は午後1時30分から)
ところ：高岡市美術館 地階 ギャラリー
定員：20人
申込：8月6日[土] 午前9時30分から、電話で、高岡市美術館(20-1177)に、参加者の名前、連絡先、学校名、学年を連絡してください。先着順に受付けます。参加には観覧券が必要です。

② 講演会

演題：「木の造形—日本近代を中心に」
講師：毛利 伊知郎さん(三重県立美術館 副館長、本展アドバイザー)
とき：8月20日[土] 午後2時から3時30分まで
ところ：高岡市美術館 地階 ハイビジョンホール(聴講無料・申込不要)

③ 学芸員のギャラリー・トーク

とき：8月13日[土]9月3日[土]10日[土] いずれも午後2時から
ところ：高岡市美術館 1階 企画展示室(観覧券が必要です。)



今回の企画展

高岡の作家たちへふるさとでつくること～
9月30日[金]—10月23日[日]

交通のご案内

JR北陸本線高岡駅から
●徒歩約20分(高岡駅から北東約2km)
●バス 富山行/石瀨行「中川」バス停下車 徒歩2分、高岡市民病院行「工芸高校前」バス停下車 徒歩1分
●JR氷見線「越中中川」下車 徒歩2分
能越自動車道 高岡北ICから約10分、高岡ICから約15分
北陸自動車道 小杉ICから約20分、砺波ICから約30分
※高岡市美術館地下駐車場、高岡文化の森駐車場(屋外)をご利用ください。



財団法人 高岡市民文化振興事業団
高岡市美術館
TAKAOKA ART MUSEUM
〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号
Tel.0766-20-1177 FAX.0766-20-1178
<http://www.e-tam.info/>